

刊夕日三十月九

常磐每日新聞

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
廣告料 五字一十行 一行五字 五字一十行 一行五字
日曜祭日の日休 日休
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞社
電話 六三〇
印刷 常磐毎日新聞社

無佛無縁の世界

眞繼、雲、山

近頃の世相いよ／＼以て
險兇なりとあつて、役人や
博士連中が何々思想善導會
をつくり、文部省邊でも斯
かる篤志家をフミ合にして
思想善導費に巨資を投じ、
高僧碩學には勅任待遇の給
料を與へて講演をして廻ら
せてゐるが、思想は一向善
導されず、ます／＼悪化し
てゆくといふのは、惟ふに
善導の的が外れてゐるから
である。

大体、修養講座や、佛敎
講演でも聴きに來るほどの
人は、既に求道開法、欲生
志願（極樂に生れたいと欲
し願ふ心の持ち主）の篤志
家なのであるから實は是れ
立派な當分の佛様（まさに
佛に成らんとする仁者）で
ある。左様な准佛様に今更
ら汗水たらして講釋する必
要はなく、結構な講釋を聞
きに來ない程の不心得者に
こそ、説敎の必要はあるの
であるが、未だ善導業者に
それだけの智慧はなく、肥
料の必要などころに肥料を
與へず肥料の桶坪を目がけ
て肥料を蒔いてゐる。斯か
るトンチンカンの方策で思
想國難を救はんとといふは百
年河清を待つにひとしから
う。

無信の徒が非禮をはたらく
道端の辻に、なぜ辻地蔵が
あり、地蔵菩薩が寒風に吹
かれてゐたまふかといふに
地蔵尊の本願は、信者の拜
んでくれる佛壇のなかに澄
ましてゐる必要はなく、佛
滅以後彌勒の出生にいたる
無佛の世界、無縁の衆生に
佛縁を布かうといふのであ
る。佛敎講演を聞きに來る
善人に善根を積めと講釋す
る無駄骨よりも無縁の劣機
を化益せんとする地蔵菩薩
の本願の方が遙かに徹底し
てゐるやうである。

斯く申す私も十一年前よ

文藝募集

り地蔵尊の弟子となり『日
本佛敎新聞』といふ小やか
な佛の使を、無佛無縁の里
に大風に灰を蒔くやうにし
て散華して來た。昨日ま
で無關心であつた人々を甍
も角も佛國土に引入れる縁
を結んで來たこと鮮少でな
い。この功德、何程ぞとい
ふに無功德であること先刻
承知の助である。無功德の
埋め草代りに敢へてこゝに
手前味噌を述べる意味はな
いが善導業者の御参考まで
に地蔵様に代つて敎へてお
くのである。

竣功近き水道

擴張事業概要 (1)
平町 伏見彦術

一、計劃の概要

本町水道の基本計劃は人
口二萬五千人に對し一入一
日三六立方尺の處世の文化
へ此水量を以て満足するを
得ざる状態に立至りたるを
以て茲に人口四萬人に對し
一人一日平均四、五立方尺
供給の基礎を樹て本工事の
遂行を見るに至れり而して
此水量は拾八萬立方尺其他
二萬立方尺とを併せて二十
萬立方尺を標準とし本町を
距る西方約一里二十一町好
間川筋好間村大字上好間地
内俗稱大瀧の清流を水源と
し此に堰止を施し自然流
下式に依り好間村大字上好
間字上野原の淨水場に導き
此處にて濾過淨水となし再
び自然流下式に依り町内八
幡小路配水池に送り町内に
配水するものなり。

二、取水装置

取水の位置は前項好間村
地内大瀧の清流にして其水
位は常に海拔二百五十二尺
五寸を保たしめ其れより灌
溉用水路約二百六拾間を利
用し同地点字東唐松地内に
長九尺六寸幅六尺の長方形
全部混泥土造の取水室を築
造し内部を二つに區分し量

水扉を設けて取水量の調節
を計り尚ほ室の隣りに内徑
二尺角のますを築造し同所
に水位標示器を備へ常に取
水室内の水位を觀測し得る
装置とす。

三、導水管

導水管は取水室より好間
村大字上好間字上野原淨水
場内着水井に至る壹千二百
八十間を内徑四百耗鐵管を
布設す途中地盤の高低に應
じ低所には土砂吐き弁を附
し高所には排氣弁を取付け
管内の空氣を排除し通水に
支障ならしむるものとす

四、着水井

着水井は好間村大字上好
間字上野原淨水構場内に築
造す其構造内徑八尺の圓形
混泥土造にして隣には幅三
尺深五尺及六尺延長三間六
分の階段付混泥土造開渠を
設け同所に長三尺二寸幅七
寸の量水堰を設け流量を測
定し得る装置とす之れより
内徑一尺五寸鐵筋混泥土管
により沈澱池に送水す延長
四十六間五分尚ほ必要に應
じて着水井より濾過池に直
送する爲め内徑二百五十耗
鐵管を以て連絡す着水井の
満水面は海拔二百十八尺と
す

看護婦急派 の求めに應 じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

九月十四日(水曜日)ヨリ特別大興行
松竹超特作 監督池田義信

デパートの姫君

栗島すみ子 竹内良一 江川宇禮雄

◇日活提供OK MK作品

◇千恵プロ創立以來の巨作

◇東京日日新聞 犯罪公論連載
◇大阪毎日新聞 犯罪公論連載

審判渡世

片岡千恵藏 山田五十鈴 衣笠淳子
原作村松梢風 監督伊丹万作

仙臺放送局(HK)より擔當解説者石井孝氏が
放送局推選により放送せる責任と自信ある近
來の大名畫である!! 全二十卷同時上映

石井 孝獨演

十五日……八幡宮大祭
十七日……土曜日
十八日……日曜日
料金……普通 二〇

映書長尺 正七時映寫
ヒルの部 十二時ヨリ
日活松竹
平 館
電466

◎期 日昭和七年九月十八日(第三日曜)

◎場 所平町第三小學校庭

◎競技方法 タイム滞空競技

郡下模型飛行機競技大會

◎賞品 一等高さ一尺の大銀カップ及び銀賞牌、銀メダル其他十五
等迄澤山進呈奮て多數御参加あらん事を！
規定及び詳細は主催店へ御問合せを乞ふ

主催 平町 いづみや飛行機材料店
後援 平町 常磐毎日新聞社
東京 タイヤモンド 模型飛行機 東京研究會

目丁二町平
一シクタ井三
番五八六話電

一冊の代金で
御希望通りな

五冊の雑誌が
自由に讀める

川崎巡 文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

來月上旬頃を期して

臨時に忠魂祭

滿洲事變戦死者の爲めに

救済土木事業 施工協議當日町村長打合す

石城町村長支會では来る十五日午前十時より平町各種團體事務所樓上に於いて總會を催し

今回の農村匡救土木事業として

當られた諸工事の施工方法其他に就いて協議を行ふ事になつたが併せて當日は滿洲事變に於ける郡下の戦死者の爲めに來月上旬頃平町松ヶ岡公園忠魂碑前に於いて臨時忠魂祭を

舉行する件に關し種々打合せを筈

放火娘

求刑通り

既報石城郡内郷村大字高坂無職齋藤梅代(七)假名の放火事件言渡し公判は本日午前十一時より平支部公判廷に於て中島裁判長・竹内、關口兩判事陪席市川檢察立會の下に開廷されたが求刑通り少年法に依つて懲役三年以上六年以下と言渡された

見事な

記念銀盃調製

歸郷勇士に贈呈

服部時計店に注文

平町役場では今回の滿洲事變に出征し除隊となつて歸郷せる勇士十四名に記念品として東京服部時計店製の見事な銀盃を贈呈すべく目下同店に註文中である

大平師範の

弓術を見學 學校弓道部員六十名は本日午後一時より新田本多兩係教練に引卒され平警察署矢場に於

高久梨果品評

泥醉漢が崖下に轉落

運轉手に救る

石城郡川前村字江田居住日雇業山崎文吉(五)は十一日午後九時頃泥醉の上江田地内縣道を通行中誤つて二十尺餘崖下夏井川上流に轉落丸太に引つかかり救助を求めて居た際トラックを運轉して通行せる郡山市堂下木村自動車店方運轉手鈴木政男(三〇)に發見危い處を救助された

麥の小賣

値上

平米穀商組合では麥の輸入取引が騰貴した爲め去る十日より麥の小賣値を左の如く値上した

明日のラジオ

十四日

報豫氣天 今晩は南東の風 曇り小雨模様 日は北西の風 次第に晴れます

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 童話劇「宮千代物語」百五子供會
- 後六、三〇 講演「差別待遇」法學博士 下村宏
- 後七、〇〇 「乃木將軍二十年記念の夕」講演乃木軍神を偲ぶ 陸軍中將 服部 岩下新太郎

勿來衛生映畫

石城郡勿來町役場では去る九日午後六時より同町小學校に於いて衛生映畫會を催し非常な盛會を見た

- 矢野校長 北海道へ
- 平商業學校校長 矢野泰次郎氏は來る二十七日より五日間北海道小樽札幌兩市に於て開かれる東北及び北海道商業學校長會議に出席の爲め二十五日平發午前八時二十分に出張すると

盗んで山へ

潜伏中捕る

本郡生れ前科二犯の男

小野新町署に押送された爲め本日平署に身元照會があつた

- 平職業紹介所報告
- 回求人部
- △商店雜役 二十五才以下

明日の部

- 前六、三〇 家庭教育講座「青年の心理と性教育」京都帝國大學教授文學博士 野上俊夫
- 前七、〇〇 エスベラント講座 八木日出雄
- 前九、一〇 料理献立「クリスマス入油揚げ菓子」中村光三
- 前一〇、三〇 家庭講座「ワイシャツの作り方」土屋許子
- 後〇、〇五 映畫物語「勝つて歸れよ」有坂末廣
- 後二、〇〇 婦人講座「青年を育てる母親へ」柴田一
- 後六、〇〇 子供の時間 兒童劇「行け!支倉六右衛門常長」宮城縣荻濱小學校兒童
- 後六、三〇 講演「關ヶ原合戦に就て」藤井治左右衛門
- 後七、三〇 講演「桃山の歌合せ」西尾魯山
- 後八、三〇 哥澤 哥澤芝勢社中
- 後八、五〇 錦心流琵琶「羅生門」佐藤錦峰
- 後九、三一 滿洲より

尋卒 給料面談(四倉町某)

- △自動車修繕工 二十五迄 尋卒 日給五六十(平町某)
- △納豆製造見習 十八才 尋卒 月三、四圓位(平町某)
- △回求職の部

尋卒 給料面談(平町某)

- △女中 二十五才 尋三修 給料面談(平町某)
- △馬車挽 四十七才 委細 面談(平町某)
- △土工夫 十七才 尋卒 給料面談(平町某)
- △雜婦 三十八才 高卒 給料面談(平町某)

うなぎの御用命は

うなぎ 奴

有難ふ御座ります

毎度御ひいき

平町田町(電話二二番)

セメント 壁用材料 コールタール ペンキ塗料 板ガラス

磐城セメント株式會社 代理店 西村屋藥舖 平町二丁目(電三)

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

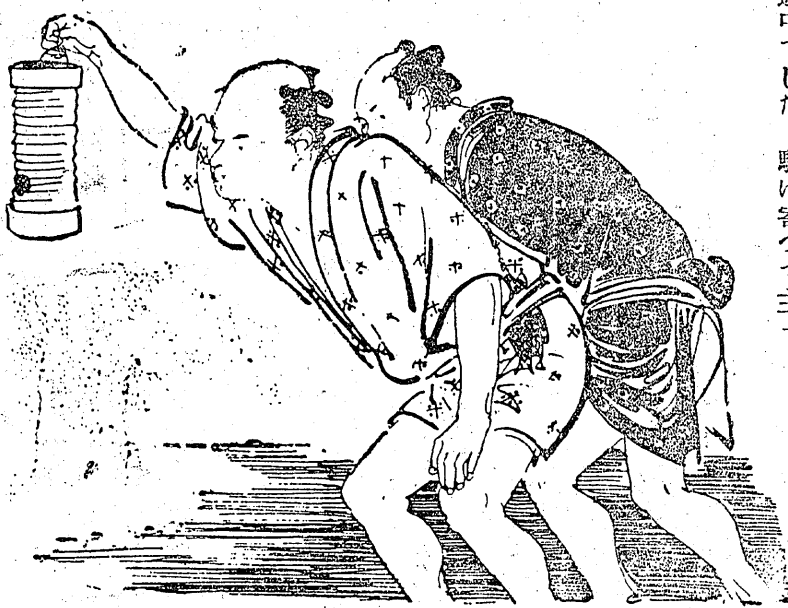
悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第四百九席

女流劍客里見靜枝

里見非業にたふる
里見主計は負傷いたした
右足を石に打付けヒョロ
と前へ身體の伸びた時
曲者の突き出した槍にて腰
をグサと突かれアツと云つ
たか痛手に屈せず振向いて
サツと斬付けた、槍をボロ
リ切折つた、折から前より
斬込む一人、主計は右の肩
をザクツリ割附けられど
と倒れながら横に薙ぎたの
で彼の曲者はキヤツと悲鳴
をあげて之もたふれた、其
折後から進み寄つた一人、
切折られた槍を投げ捨て一
刀を引抜いて斬付けた。如
何に斯道の達人なりとも重
傷を負ひしこと、最早闘
ふ氣力も無い、ところへ上
野の方から急ぎ足に此方へ
來る者がある、提灯にて道
を照し次第々々に近寄る、
見附られては面倒と曲者は
其處を去つたが是も負傷し
て居る事と思ふやうに走
れない。商人家の軒下を傳
はり成るべく姿を見せぬや
うにして阪本の方を指して
行く、スルと此處へ來た彼
の提灯を持つた男

○「何だ何だ。ウン喧嘩か
オウ、大層血がこぼれて
居る、これは決闘か」



計を引起して見ると右の方
を一ヶ所、左の腕に二ヶ所
小鬚に一ヶ所、それに腰に
突き傷、前には九尺柄の槍
が二ツに折れてすて、ある
夢ではないかと驚いたが
金「先生、山路でございま

す、飛んだ事になりました
ナ、お嬢様がこれをお聞き
なされたならば嘸せお歎き
なさるであらうシテ此處に
倒れて居る者共があなたに
害を加へたでございませう
一體此奴等は何れの者にて
如何なる宿意あつてかゝる
狼籍をいたしましたか
と云ひながら血に染つてた
ふれ居るその者共を提灯の
光にて見ると、嘗て里見の
道場にて参つて亂暴いたした
上杉の浪人篠下平八、秋田
丈助の二人、篠下は脇腹を
深く斬られて是はもう息は
絶えた秋田丈助も負傷はし

て居るがまだ生きて居る
金「憎い奴だ、先生の歸り
を此處に待ち受けてかゝる
害を加へ居るとは、ヤイこ
れ秋田俺は山路金作だぞこ
の卑怯者」と云はれて今ま
でウツトしてゐた丈助が

これを聞くとヒョロ／＼と
立ち上り刀を杖に逃げよう
としたが、一二間歩むとバ
ツタリ倒れる、それでも又
起き上つて行かうとしたが
三島神社の石の鳥居にして
衝突してアツと云ふとバツ
タリ倒れたウームと唸つて
居る處へ後の方からこれへ
來たは主計を乗せて來た駕
昇一旦は逃げたが駕が氣に
なるから引返して來たそれ
を見て山路金作が
金「貴様達は何だ此奴等の
同類か」
駕「どういたしまして、わ
たくし共は竹ノ塚の名主様
から頼まれました里見先生
をお宅まで途中此處へ來ま
すと不意に槍を駕に突つ込
んだ奴がございましたが、こ
れは大變と逃げましたが、
駕は借物でございませうから
どうなつたかそれを見に
來ました、オヤ、先生
は殺られましたナ、又此處
に倒れてゐる二人は泥棒で
ございませうか

金「貴様達は駕昇が宜い處
に参つた、先生を乗せて横
町の住宅まで送り呉れ、俺
は里見の門人にて山路金作
と云ひ先生の迎として此處
まで参つたものだ」
駕「左様でございませうか、
わたくし共もかゝり合でご
ざいますから先生を横町の
お宅で持つて行くことに致
します、それにしても惜し
い事をしましたナ、劍術は
名人だと聞きました、こ
んな事になると名人だと
安心して居られねえ、然し
泥棒二人を殺しましたイニ

ツまだ一人生きてゐます、
と成る程ビク／＼い動てゐ
ます、氣味の悪いのオウ大
層な血だ、スル／＼しま
す」
と駕昇はこわ／＼ながら里
見を駕に入れ落ちぬやうに
帯を解いて括し付け垂を下
した、茲で山路金作は金杉
の自身番へ参つて此事を届
出た。

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 胃性 腸病
林病 腸虫病 十二指腸
村松 院醫科 腸病 胃性 腸病
町南平 七〇一話電

御用命は！
印刷物の御用命は！
常磐毎日印刷株式會社
電話三〇六番

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南一七〇

りん病 永らく悩む人の福音
天下の名湯別府温泉で出來た無効返金責任藥
常磐別府温泉
全國知名新聞 こんなヨイクスリを未だ知らな
雑誌 推奨 い方がありませうか
右は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし
慢性淋病、こしけ、渦渦の病みは不思議に止り連服
するも絶對胃腸傷害なき各藥であります。
尙ほ此の藥は責任速効藥で二日内服して効なき時は
殘藥引換に全部異議なく返金します。
論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢
性、悪性の人は七日以上服差して下さい。
美本淋病治療書無代進呈 此の新聞各記入申込者に
付前金申込者には送料無料、新品送藥す。
代金引換廿三錢手数料金納の事。
藥價 急性用(黒箱) 一週分 參圓
慢性用(赤箱) 一週分 五圓
特約一 平町古鍛冶町一〇
手販賣 阿康藥舖
縣社ノ下(電話四四番)

貨切の御用命は！
獅子吼(四四九)ノ勢デ
眞先ニ……(マツサキ)
三九二タクシーへ!!!
磐城セメント會社特約店
磐城平町五丁目 電話九番九九番

久全堂商店
磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實捷敏の生命なり